

暑い毎日が続きますが、暦の上では秋です。朝晩の涼やかな風や、虫の音、トンボが飛ぶ姿に、過ぎゆく夏を感じるようになりました。商業高校の生徒にとって秋とは、「挑戦の秋」「出陣の秋」です。就職希望者の入社試験は9月半ばに始まります。進学希望者については、総合型選抜を皮切りに、本格的な受験シーズンが到来します。3年生は、各自が「実りの秋」を味わえるよう、前向きに取り組みましょう。もちろん進路先決定後も卒業まで自己の成長を目指して様々な面で努力しましょう。1、2年生については、3年生を応援しつつ、その姿を目に焼きつけましょう。来年または再来年、自分がどのようにすべきかのヒントが得られるはずです。今回の「進取」では、「就職試験の作文」と「進学希望者の小論文」の対策について紹介します。

◎就職試験の作文について

就職試験の作文によく出題されるテーマは、以下の3点に集約できます。

- 「社会人としての心構え、目標、抱負」
- 「高校生活で自分が最も成長したこと・充実感を持ったこと」
- 「将来の夢」

実際に提示される題名は企業により様々ですが、上記の内容がしばしば出題されています。作文試験を通じて企業が見たいのは、「前向きに高校生活を送ってきたか」「社会人として仕事に励む気持ちを持っているか」の2点です。作文を書くことが苦手な生徒はいるかもしれませんが、面接試験と同様に、自分の長所を企業に売り込む一つ的手段として捉えましょう。書く内容はもちろん大切ですが、丁寧でしっかりした字を書くことで、誠実さや一生懸命さを伝えられます。書き終えたら読み直し、誤字脱字を防ぎましょう。

◎進学希望者の小論文対策について

令和2年度の入試改革以降、多くの大学の選抜方式で小論文試験が課されるようになりました。それまで課されることが少なかった学校推薦型選抜（指定校制）でも実施されています。指定校制については、過去問題が少ないため対策しにくいのが実情です。また小論文試験には、限られた時間の中で解くという難しさがあります。以下、これらに関する対策方法を示します。

- オープンキャンパスで過去問題を請求し、対策方法を質問する。
(ほとんどの学校が丁寧に対応してくれます。)
- 過去問題が少ない場合、同じ大学の別の選抜方式の問題を解く。また別の大学の、同じ学部・学科で出題されたテーマで練習する。
(他の大学で出題されたテーマを調べると、最近の出題傾向が分かるので、良い勉強になります。)
- 実際に小論文を書くときには、まず設問文を読み、何が問われているかをよく確認する。問われたことに忠実に答えることを意識して文章を組み立てると、書きやすく、時間も短縮できる。
(最も評価が低いのは、問われた内容に答えていない小論文だと、県内のある私立大学の入試担当者から聞きました。)
- 日頃からニュースを確認し、新聞を読む。
(ニュースの概要をノートにまとめ、感想や意見を記入しておく、小論文に書く内容を蓄積することができます。)

2学期の主な進路関係の日程

- 9月
- ・進学 校内選考会議①(14日)
 - ・就職試験開始(16日)
 - ・国家公務員・地方公務員採用試験(1次試験)
 - ・進路希望調査
(1, 2年)
 - ・大学入学共通テスト出願
 - ・総合型選抜開始

- 10月
- ・進学 校内選考会議②(6日)
 - ・国家公務員採用試験
(2次試験)
 - ・マーク式模擬試験(3年)

- 11月
- ・2年キャリアセミナー(1日)
 - ・学校推薦型選抜開始

2学期の主な検定

- 9月
- ・全商英語検定(11日)
 - ・全商情報処理検定(25日)
- 10月
- ・実用英語検定
- 11月
- ・全商ビジネス計算検定(13日)
 - ・全商ビジネス文書検定(27日)
- 12月
- ・全商財務会計等検定(11日)
 - ・全商英語検定(18日)
 - ・日商簿記検定

